

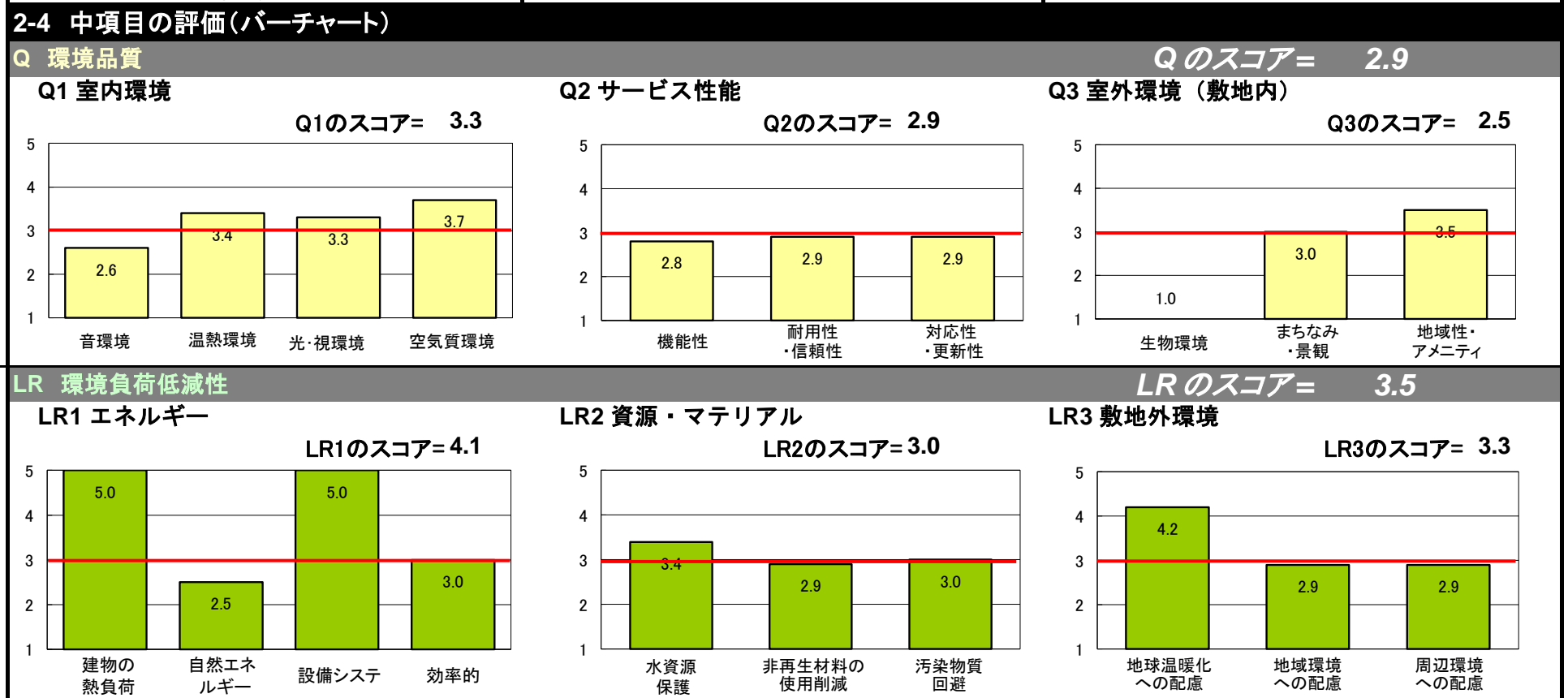
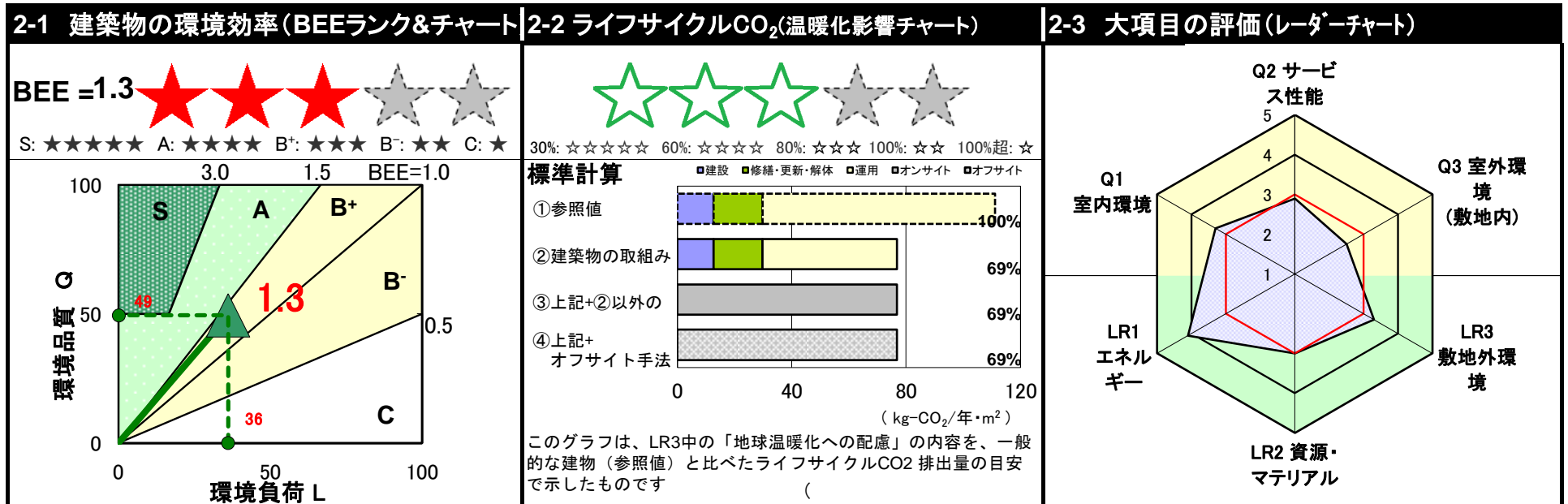
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

CASBEE® 広島 (2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	山陽高等学校校舎	階数	地上4F
建設地	広島県広島市西区観音新町四丁目	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条防火指定	平均居住人員	600人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 予定	評価の実施日	2015年2月10日
敷地面積	33,075 m ²	作成者	山口
建築面積	2,151 m ²	確認日	2015年2月10日
延床面積	7,996 m ²	確認者	山口



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 2.3	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 BPI=0.74 / BEI=0.58 / 節水型便器を採用 / LCCO2=4.2	設計の計画上特段に配慮した事項 緑化率=10%以上 / 十分な駐輪スペースの確保	設計の計画上特段に配慮した事項 更新間隔の長い配管材料を採用 / 構造部材を傷めることなく配管の更新が可能

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される